

2021年11月24日
株式会社FRONTEO
(コード2158:マザーズ)
〒108-0075 東京都港区港南 2-12-23 明産高浜ビル
代表取締役社長 守本正宏
問合わせ先:取締役 上杉知弘
電話番号:03-5463-6344

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時: 2021年 11月 16日 15:30~16:30
開催方法: 対面による実開催
開催場所: ステーションコンファレンス東京5階 説明会会場
説明会資料名: 決算説明会資料(2022年 3月期第2四半期連結業績説明会)

【添付資料】

1. 投資説明会において使用した資料

2022年3月期 第2四半期 連結業績説明会

2021.11.16



2022年3月期 第2四半期 連結業績説明会

1. 2022年3月期 第2四半期 連結業績概要
2. 事業アップデート

※本資料内では、以下の定義に基づいて記載しております。
FY2020：2021年3月期 FY2021：2022年3月期
Q1：4~6月期 Q2：7~9月期 Q3：10~12月期 Q4：1~3月期

- **リーガルテックAI事業が好調。業績予想を再度上方修正**
- **第三のAIエンジン LooCA Crossを開発**
新エンジン搭載の経済安全保障ソリューション提供開始

AI ソリューション

■ 経済安全保障分野

- 第三のAIエンジン LooCA Crossを開発
- 世界初のインテリジェンスプラットフォーム「Seizu Analysis」を用いたサプライチェーン解析サービスの提供を開始

■ ライフサイエンスAI分野

- **Medical Device**
管理医療機器販売業を届出、医療機器を流通／販売が可能な体制へ「会話型 認知症診断支援AIプログラム」の臨床試験は順調に進捗
統合失調症の診断支援AIプログラムの研究を開始
- **Medical Intelligence**
Mekiki、WordAtlasの開発を進め、製品ポートフォリオを拡充

■ ビジネスインテリジェンス分野

- 金融関連が堅調。大規模案件のパイプライン積上げ

- AIレビュー製品「KIBIT Automator」活用案件が複数案件で大型化。ポートフォリオ・トランスフォーメーションで狙っていた効果が発現
- 上期ベースの営業利益は、対前年同期比+10億円超

リーガル テックAI

2022年3月期通期業績予想を、再度上方修正

上期振返り： リーガルテックAI事業の複数案件が、想定以上に大型化／採算良化
当該事業が、売上／利益の増加に寄与

下期見通し： ①ステージ4に向けた成長投資： コア人材中心に積極的に採用予定
②AIソリューション事業： 従来通り、下期に売上・利益増加
③リーガルテックAI事業： 非AI活用案件の受注選別厳格化、売上減少

(単位：百万円)	FY2021 期首予想	FY2021 前回予想	上期実績	下期予想	FY2021 現時点予想	増減
売上高	10,500	10,800	5,925	5,275	11,200	+400
(AIソリューション事業)	2,560	2,650	979	1,671	2,650	-
(リーガルテックAI事業)	7,940	8,150	4,946	3,604	8,550	+400
営業利益	600	1,200	1,206	594	1,800	+600
	5.7%	11.1%	20.4%	11.3%	16.1%	
(AIソリューション事業)	360	550	235	465	700	+150
	14.1%	20.8%	24.0%	27.8%	26.4%	
(リーガルテックAI事業)	240	650	970	130	1,100	+450
	3.0%	8.0%	19.6%	3.6%	12.9%	

※AIソリューション事業では収益認識会計基準等の適用に伴い、一部前年度収益を2022年3月期（今年度）に計上しております。

※単位未満切り捨てのため、合計値が合わない場合があります。

※想定為替レート 期中平均 1米ドル 110円 期末 1米ドル 110円

2022年3月期 第2四半期 連結業績概要

2022年3月期 第2四半期 連結損益計算書

AIソリューション事業：ライフサイエンスAI、ビジネスインテリジェンス共に想定通りの水準で推移

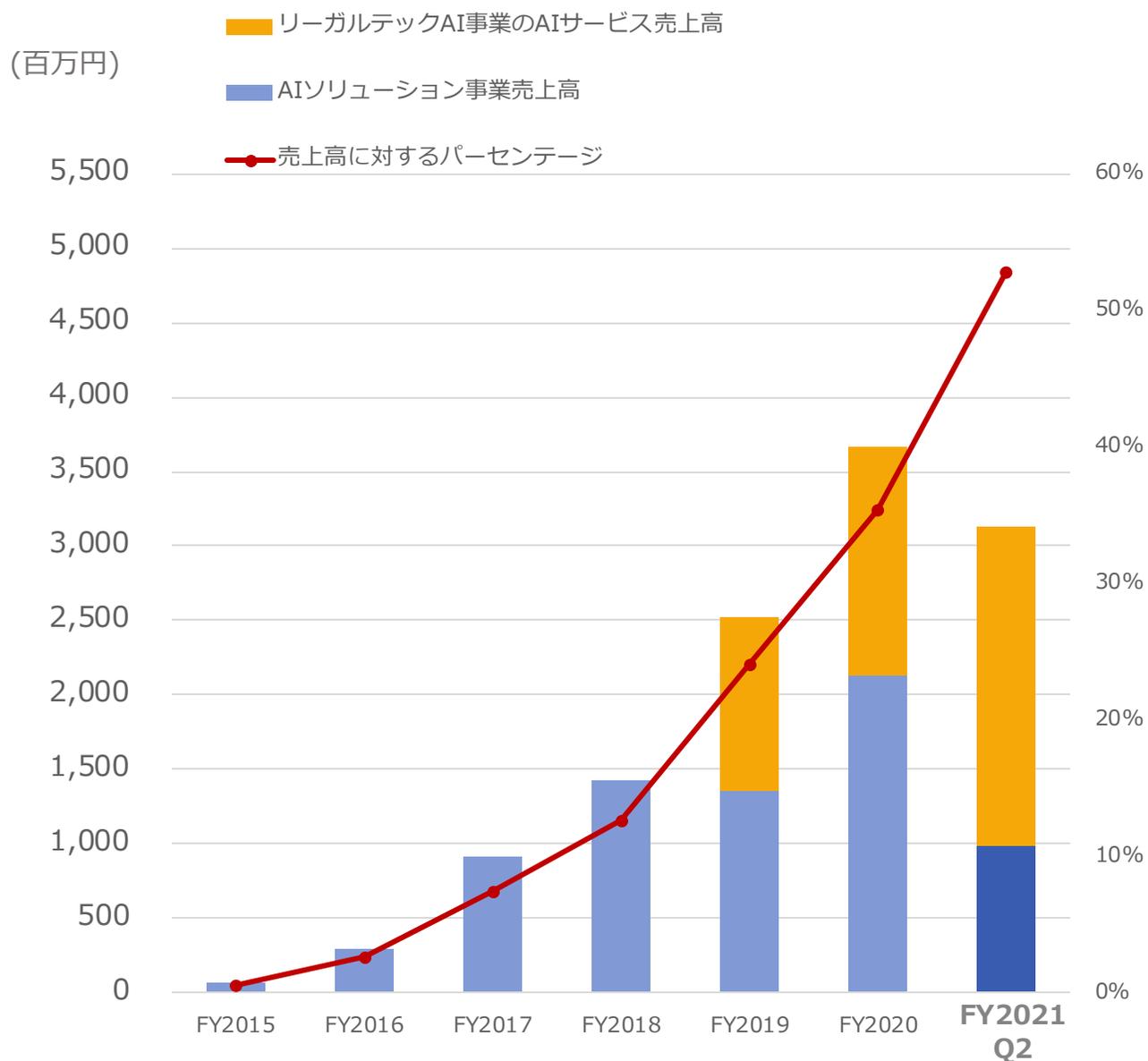
リーガルテックAI事業：AI案件へのシフト、および、好採算の大型案件が業績牽引。
 想定を超えてQ1から増益、利益率向上。上期累計営業利益は対前年+10億円増

(単位：百万円)	FY2020				FY2021				前年同期比 増減	FY2021 前回予想	FY2021 現時点予想
	Q1	Q2	YTD	年度合計	Q1	Q2	YTD				
売上高	2,933	2,113	5,047	10,370	3,067	2,858	5,925	878	10,800	11,200	
（AIソリューション事業）	489	282	771	2,124	542	437	979	207	2,650	2,650	
（リーガルテックAI事業）	2,444	1,830	4,275	8,245	2,525	2,420	4,946	670	8,150	8,550	
売上原価	1,707	1,285	2,992	5,587	1,509	1,390	2,900	▲92			
売上総利益	1,226	828	2,054	4,782	1,557	1,467	3,025	970			
売上比率	42%	39%	41%	46%	51%	51%	51%	10%			
販売費及び一般管理費	1,186	1,028	2,215	4,275	958	860	1,819	▲395			
営業利益	40	▲200	▲160	507	598	607	1,206	1,366	1,200	1,800	
（AIソリューション事業）	37	▲159	▲121	286	164	71	235	357	550	700	
（リーガルテックAI事業）	2	▲41	▲38	220	434	535	970	1,008	650	1,100	
売上比率	1%	▲9%	▲3%	5%	19%	21%	20%	23%	11%	16%	
営業外収益(-)費用(+)(Net)	0	27	26	177	▲12	3	▲8	▲35			
経常利益	41	▲228	▲187	330	611	603	1,214	1,401	1,050	1,700	
売上比率	1%	▲11%	▲4%	3%	20%	21%	20%	24%	10%	15%	
特別利益(-)損失(+)	▲30	▲18	▲48	▲46	▲48	115	66	115			
法人税等合計	40	▲68	▲28	10	187	147	335	363			
非支配持分利益	3	3	7	7	0	0	0	▲7			
当期純利益	28	▲144	▲116	359	472	340	813	929	725	1,100	
売上比率	1%	▲7%	▲2%	3%	15%	12%	14%	16%	7%	10%	

※単位未満切り捨てのため、合計値が合わない場合があります。

(日本基準)

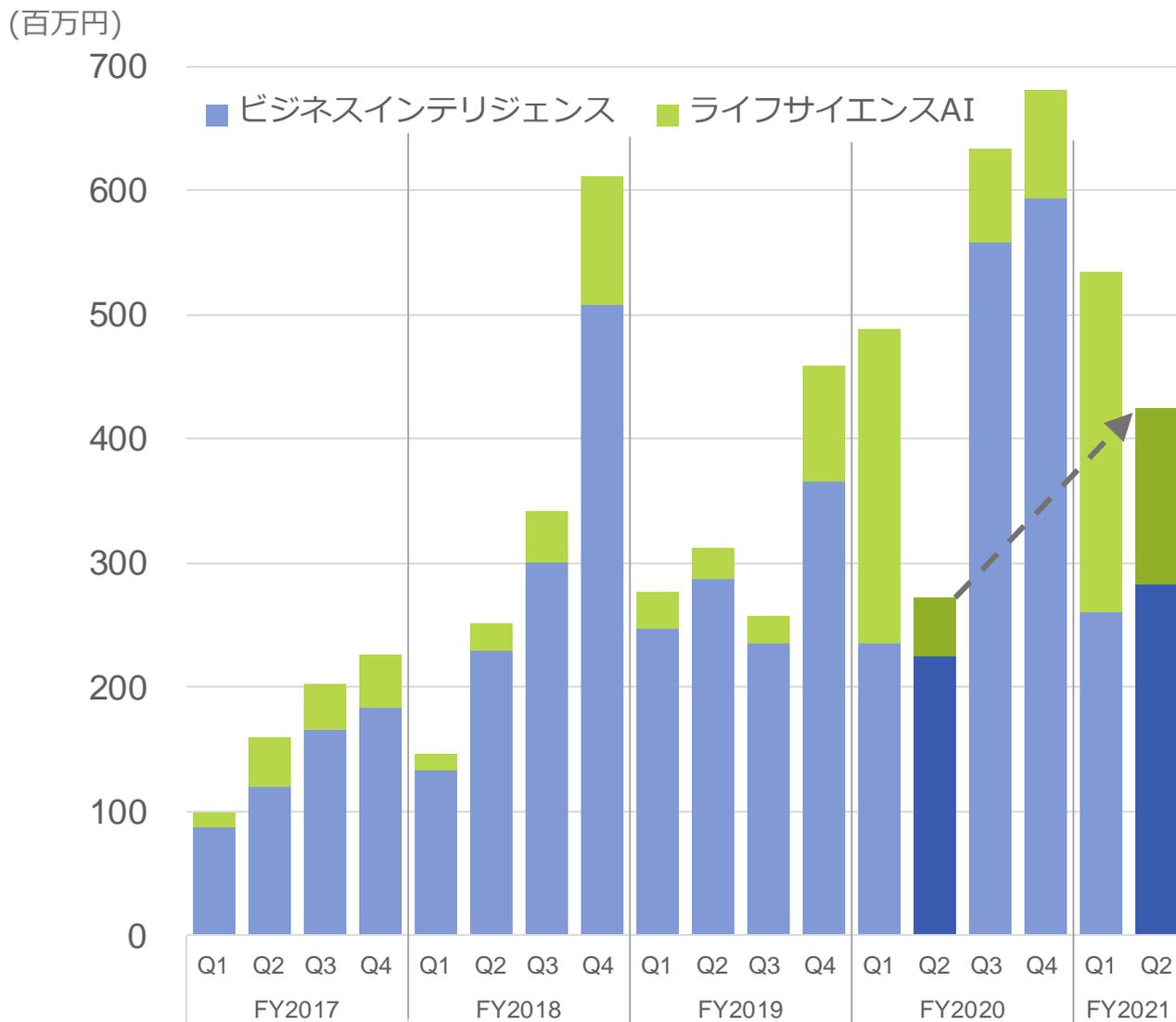
AIサービス売上高推移



**ポートフォリオトランス
フォーメーションが奏功し、
AI売上比率が50%超過**

**リーガルテックAI事業では
複数案件が想定以上に大型化**

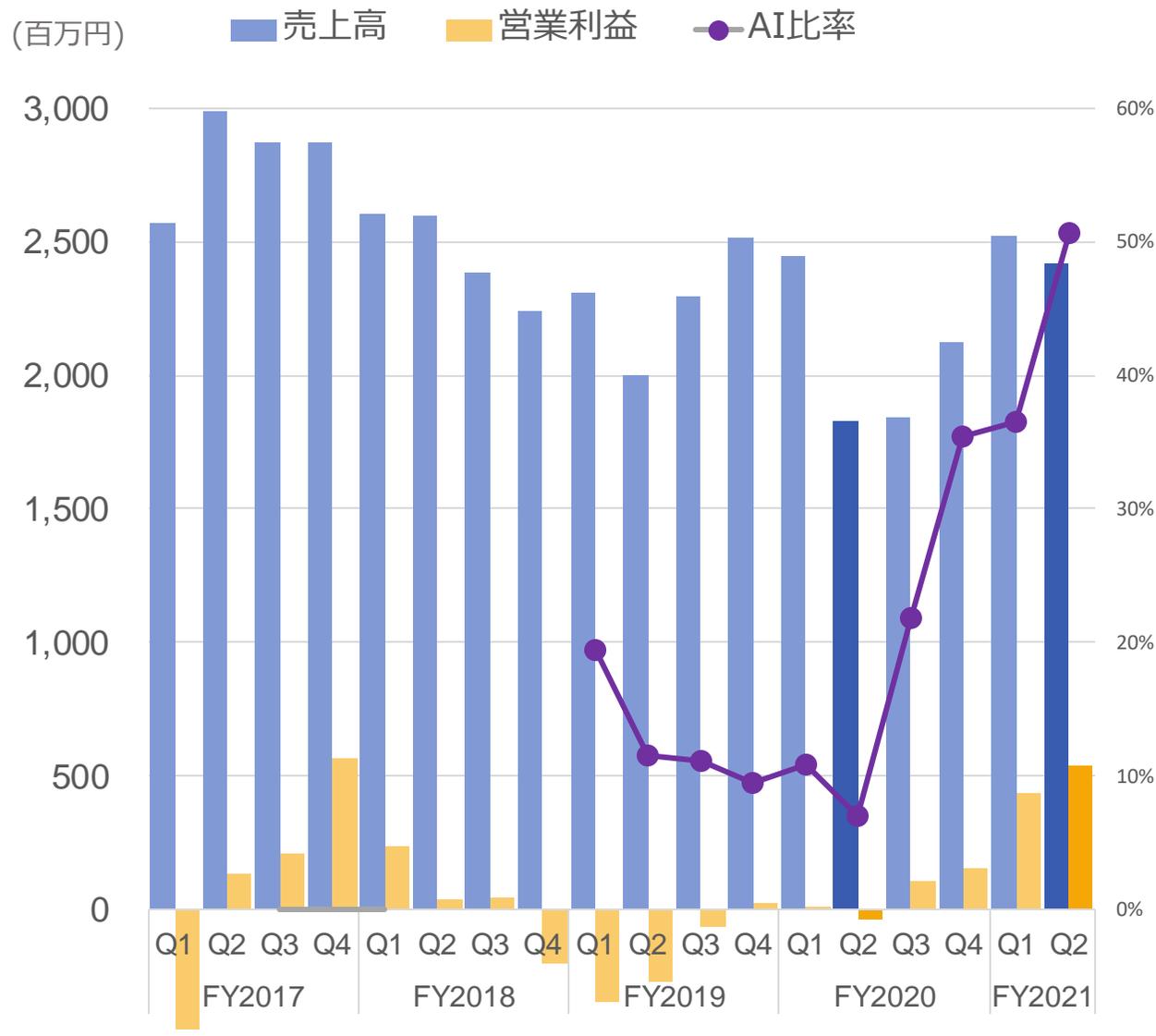
AIソリューション事業 分野別 売上高の推移(海外AIを除く)



ライフサイエンスAI、
ビジネスインテリジェンス
共に想定通りの水準で推移

(注) 収益認識会計基準等の適用に伴い、一部前年度収益を2022年3月期（今年度）に計上しております。

リーガルテックAI事業 売上高・営業利益の推移

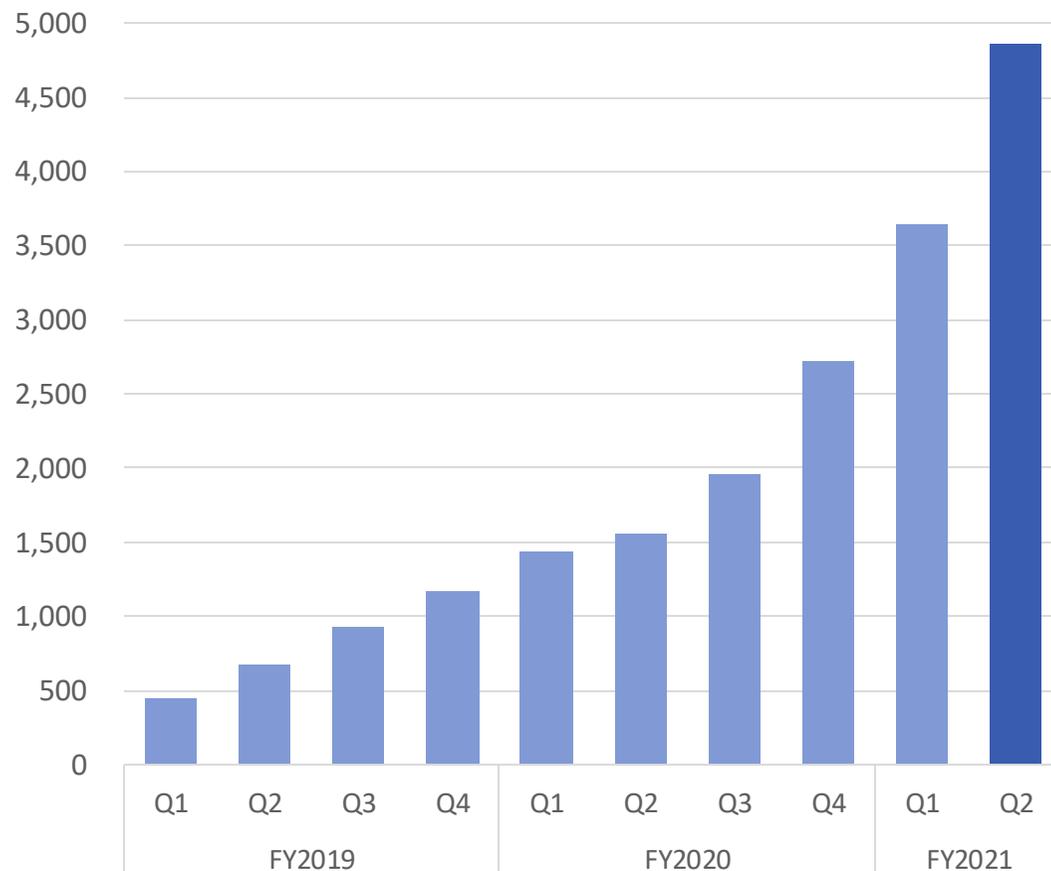


想定以上にAI売上が伸長、
好採算の大型案件が収益性
改善に大きく寄与

リーガルテックAI事業の
営業利益率は20%を超過

(注) 事業別の実態をより適切に表すことを目的として、2019年3月期第1四半期においてセグメント間の共通経費の取り扱いを見直しました。上記グラフは当該方法に基づき作成しております。

(百万円) **KIBIT Automator案件売上推移（累計）**



ポートフォリオトランス
フォーメーションにより、
KIBIT Automator活用案件の
複数が想定以上に大型化

財務体質の改善継続

好調な業績が寄与し、自己資本比率は47.5%に上昇（2021年6月末時点45.4%）
資金回収が堅調に進み、流動比率が向上。財務体質の改善が更に進展。

(単位：百万円)	FY2020				FY2021		FY2020比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	増減	%
資産の部								
流動資産	4,616	4,296	5,039	5,541	4,636	5,302	▲238	▲4%
現預金	1,446	1,936	2,850	3,004	1,719	2,649	▲354	▲12%
受取手形及び売掛金	2,721	1,784	1,660	2,104	2,288	1,893	▲211	▲10%
貸倒引当金	▲115	▲104	▲113	▲138	▲132	▲48	89	▲64%
その他流動資産	564	679	642	570	760	808	237	42%
流動比率	76%	73%	126%	137%	157%	187%		
有形固定資産	1,463	1,341	1,219	1,163	1,041	841	▲322	▲28%
無形固定資産	4,208	4,068	4,014	4,155	4,063	3,999	▲156	▲4%
ソフトウェア	1,151	1,079	1,068	1,018	1,216	1,106	87	9%
のれん、顧客関連資産	2,868	2,740	2,604	2,725	2,647	2,608	▲116	▲4%
投資その他の資産	941	1,089	1,017	1,081	1,083	1,059	▲22	▲2%
固定比率	208%	216%	166%	143%	126%	111%		
資産合計	11,229	10,795	11,291	11,942	10,825	11,202	▲740	▲6%
負債・純資産の部								
流動負債	6,103	5,857	3,987	4,046	2,955	2,841	▲1,205	▲30%
固定負債	1,712	1,769	3,363	3,251	2,832	2,925	▲326	▲10%
純資産	3,413	3,169	3,940	4,643	5,037	5,435	791	17%
負債・純資産合計	11,229	10,795	11,291	11,942	10,825	11,202	▲740	▲6%

※単位未満切り捨てのため、合計値が合わない場合があります。

事業アップデート

LOCCA Cross

ルーカ クロス

膨大な情報をLoca（濾過）し、Locate（見つけ出す）+Cross(交差させる)



グローバルサプライチェーンデータ



株主データ



論文・共著者データ



特許データ



WEB・SNSデータ



各国の法規制前のデータ

膨大かつ複雑なネットワークの中で物の流れや
影響力の伝搬度合いを分析し、**チョークポイント**や**隠れた意図**を発見する

第3のAI L∞CA Cross を用いた 経済安全保障を対象としたインテリジェンスプラットフォーム Seizu Analysis を開発

株主支配ネットワーク解析AI



サプライチェーン解析AI



SNS・メディア解析AI



Seizu Analysis
powered by L∞CA Cross

秘密文書保護
ソリューション



最先端技術・重要人物
ネットワーク解析AI



経済安全保障
グローバル法規制予測AI



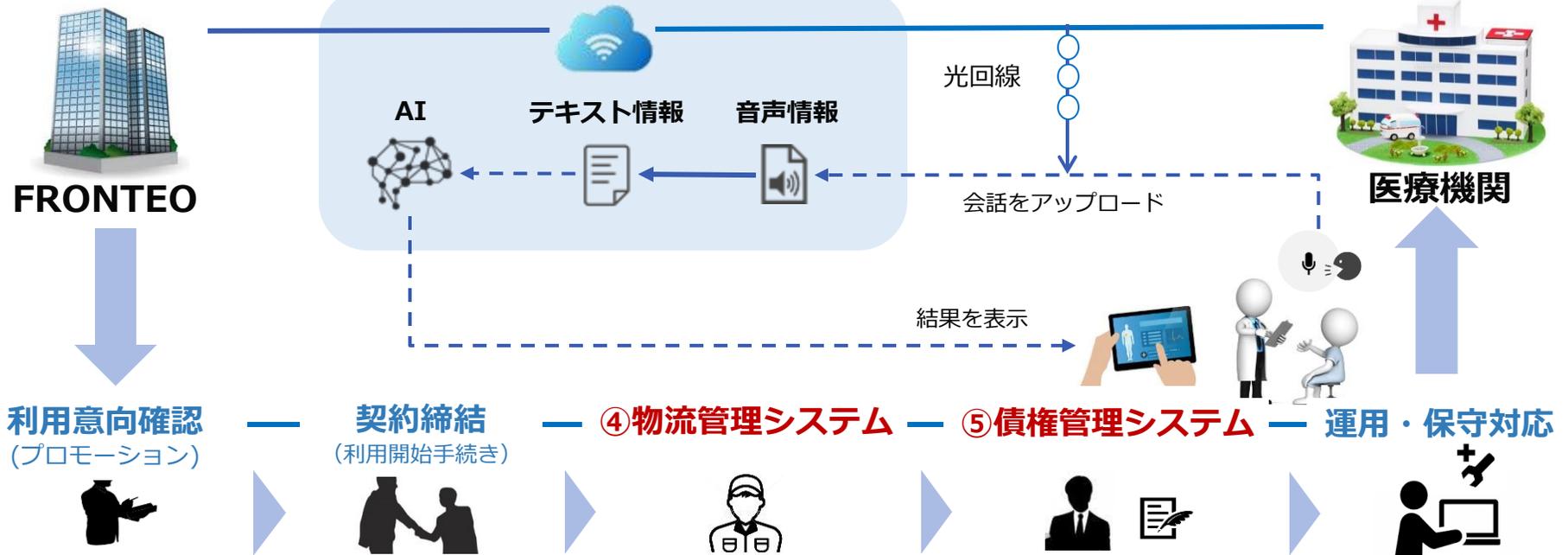
機微技術
情報漏洩予測AI



AI/Product	分野	リリース時期								
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
Looca Cross	ネットワーク解析AI (下記プロダクトの基盤となるAI技術)	● → 10/5								
Seizu Analysis I	サプライチェーン ネットワーク解析AI	● → 10/5								
Seizu Analysis II	株主支配 ネットワーク解析AI	● → 11/4								
Seizu Analysis III	最先端技術解析 重要人物 ネットワーク解析AI		● → 12月 (予定)							
Seizu Analysis IV	経済安全保障 グローバル法規制 予測AI				● → 22年3月以降					

管理医療機器販売業許可を届出

言語系AI医療機器の研究開発から医療機関・エンドユーザーへの
直接販売まですべてを自社で行うことが可能に



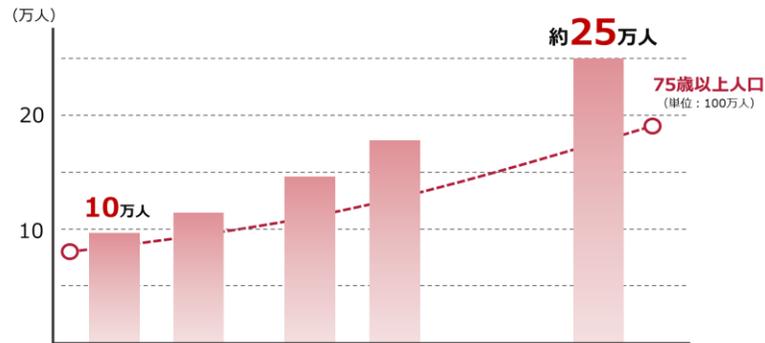
医療機器AIプログラムは各製品が順調に進捗

① 認知症診断支援AIプログラム

- 治験予定通り進行。治験症例数は目標症例の50%経過
- IDATEN制度（改良計画事前確認制度）についてPMDAと協議中

② 骨折予測AIプログラム

- PMDAと開発前相談開始
- 高齢者の転倒、約5人に1人が重度転倒（10人に1人が骨折）



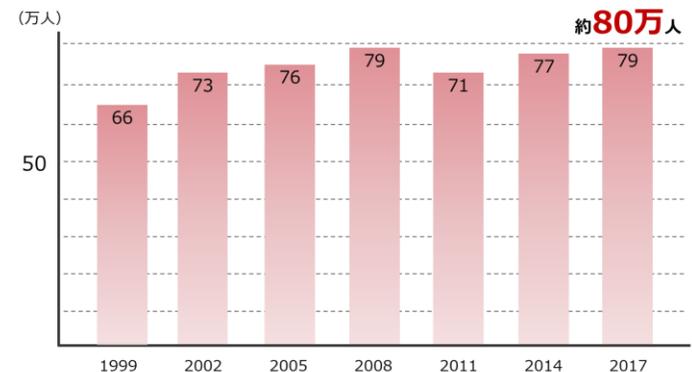
*1 折茂肇、八重樫由美、小野田敏行、他：第5回大腿骨近位部骨折全国頻度調査成績「2007年における新発症患者数の推定と20年間の推移」日本医事新報，4492：73-77,2010，

*2 2012年までは総務省「国勢調査」、2013年～は「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

③ 統合失調症診断支援AIプログラム

- 診断支援AIプログラムの研究を開始
- 国内患者数 80万人のマーケットを開拓

統合失調症外来患者数の推移



患者調査(厚生労働省による標本調査)をベースに作成
<https://rescho.co.jp/recruit/about/context.html>

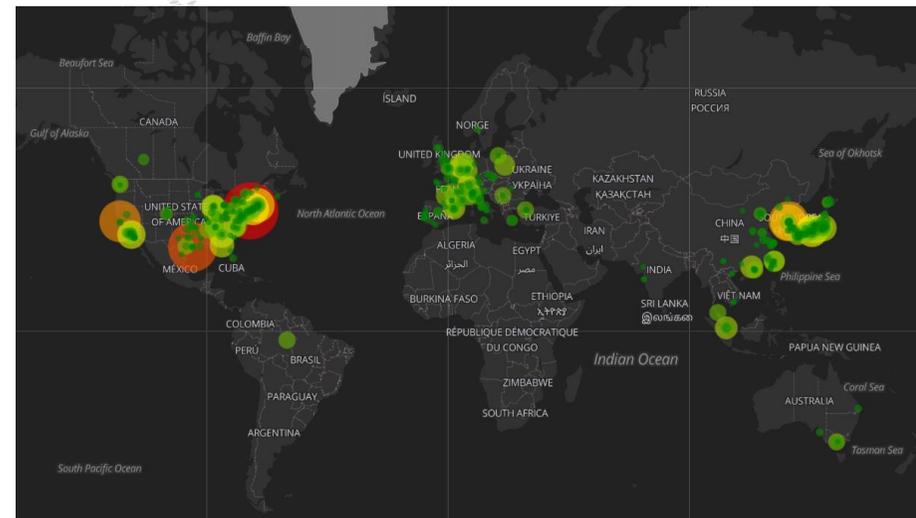
Mekiki、WordATLASのサービス提供を開始

Medical Intelligence分野の製品ラインナップを更に拡充

自動分類・審査AI

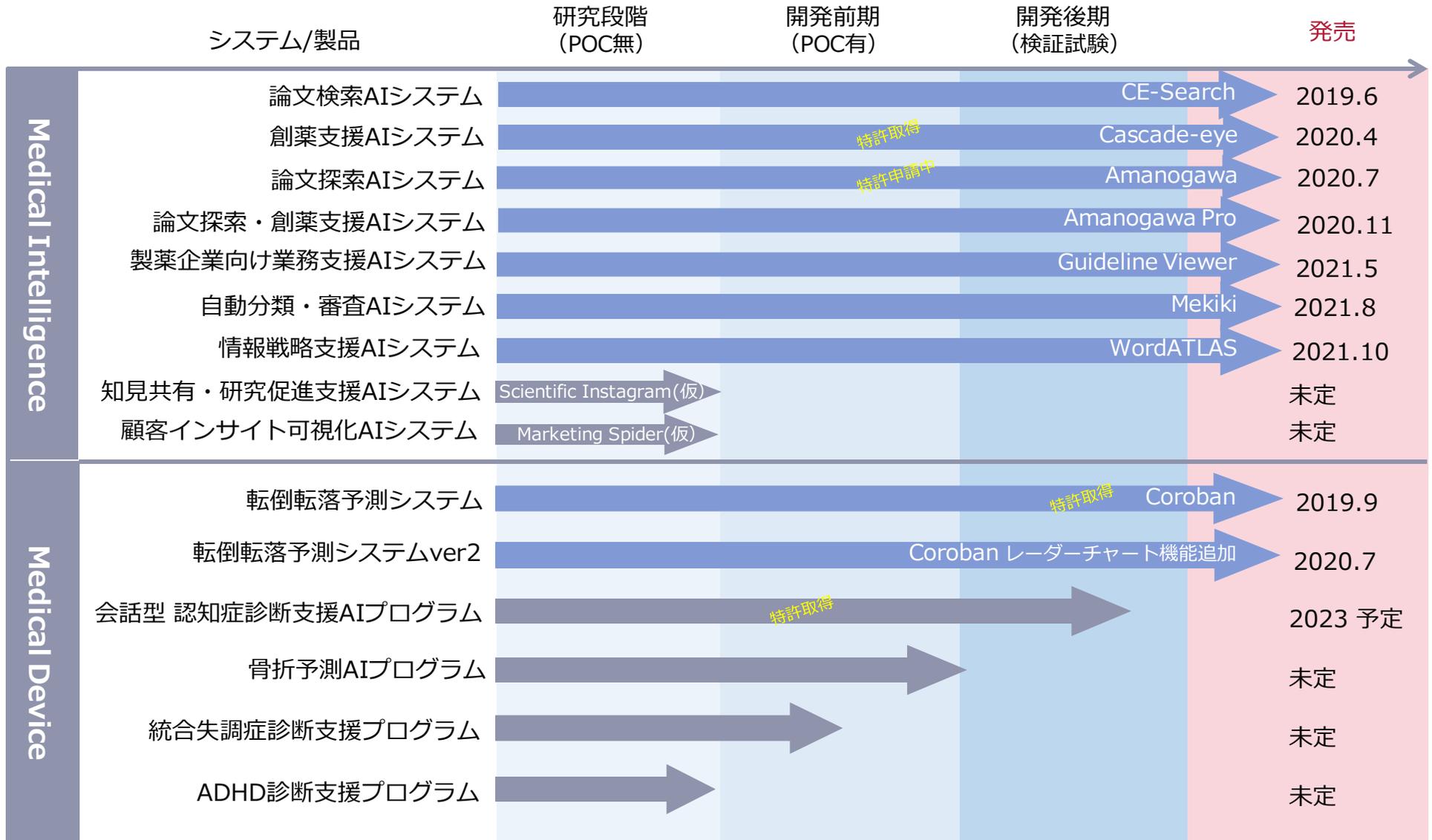


情報戦略支援AI



専門性の高い医学・医療情報をAIが解析し
目的や内容に応じて自動仕分け
審査業務の大幅な効率化を支援

医学論文の投稿状況と内容のトレンドを可視化
キーパーソン・研究者ネットワークを提示し
共同研究・マーケティング戦略策定に寄与



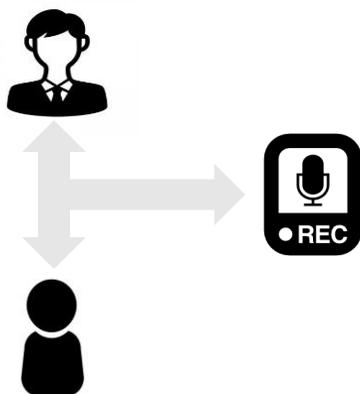
三菱UFJモルガン・スタンレー証券
顧客対応通話テキストデータ解析にKIBITを導入

日立製作所と協力し、通話モニタリングシステムを構築

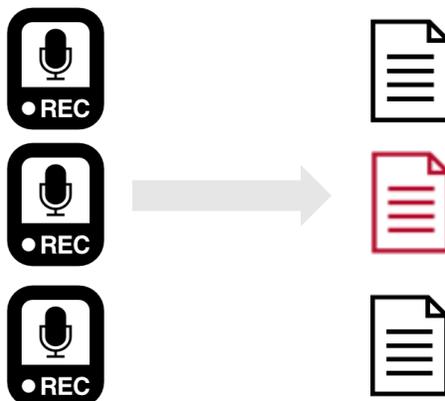
フィデューシャリー・デューティーへの取り組みから
顧客対応の通話テキストデータを解析し、コンプライアンスリスクを抽出

- モニタリング担当者の経験に頼ることなく、客観的な解析と厳密なリスク管理を実現
- 数千時間／日にのぼる膨大な通話のテキストデータを全て解析・検証することに成功

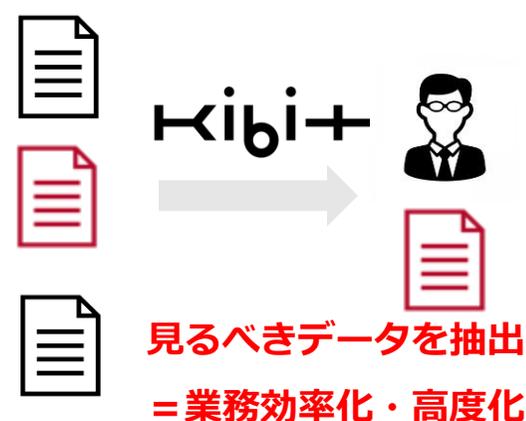
営業員と顧客の通話を録音



通話録音データをテキスト変換



通話テキストデータを解析



横浜銀行

人工知能を活用した応接記録モニタリングシステムの提供について協業

横浜銀行のAIモデルを活用したPoCを実施



横浜銀行

CONCORDIA
コンコルディア・フィナンシャルグループ



FRONTEO



AIモデルの提供



Kibi+

KIBITの導入

他金融機関の応接記録コンプライアンスチェック業務へ

横浜銀行のAIモデル、FRONTEOのKIBITを展開

- ① 金融商品を推進する業務において、コンプライアンスの観点から応接記録をチェックする
- ② KIBITにより応接記録を全件チェックし、業務負荷軽減・チェック品質向上を実現する

デジタルフォレンジック調査はAI活用が求められるステージへ

調査対象となるEメールが数十万件～数百万件超となる人的対応が困難なケースや、
時間的制約からAI活用が必須となるケースが発生

時間的制約

数十万件

以上のEメール等

調査委員会

AIサービス提供



Kibi+ Automator



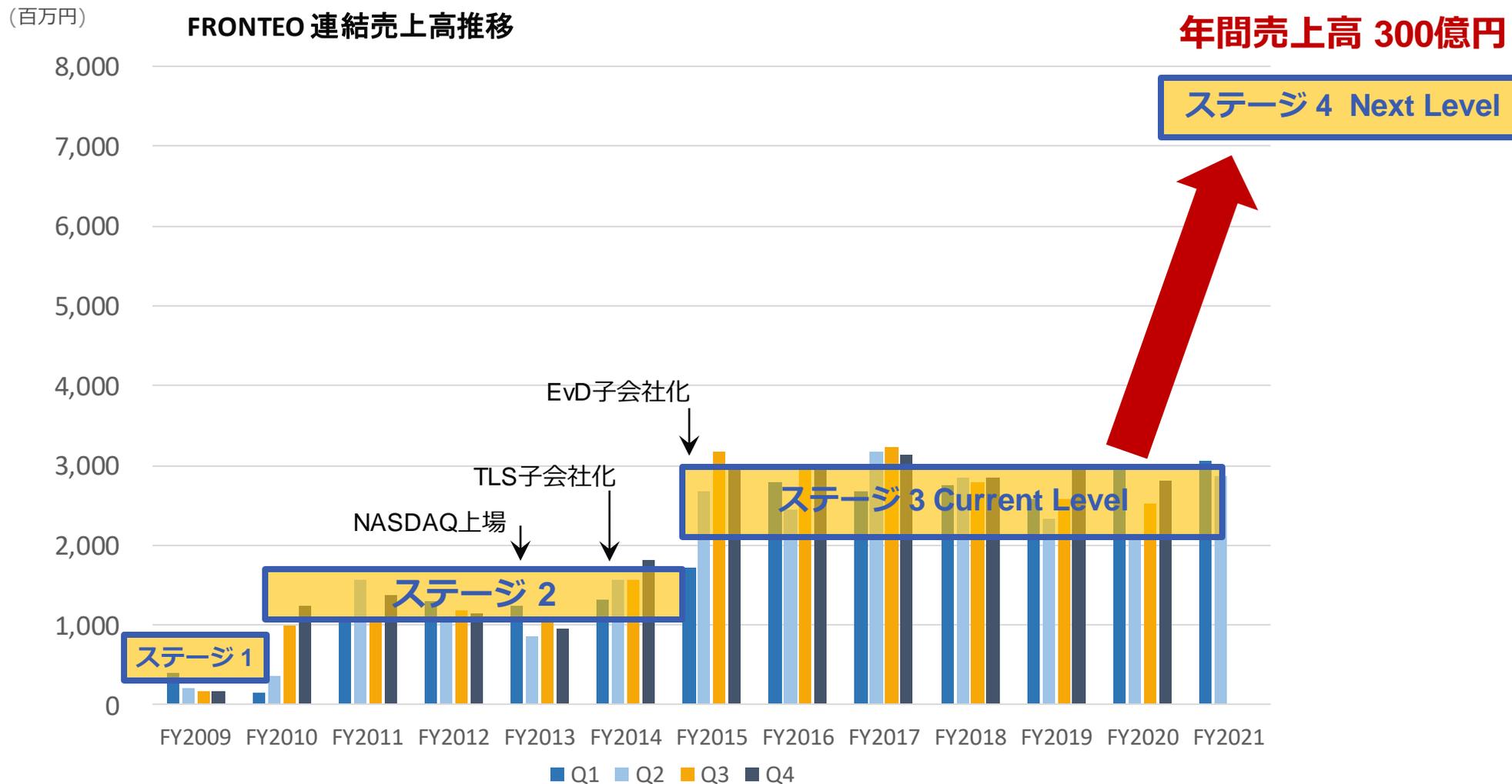
調査依頼



対象企業

調査報告書

Next Levelに向けた成長イメージ



Appendix 会社概要

会社名： 株式会社FRONTEO

証券コード： 東証マザーズ：2158

代表取締役： 守本正宏

設立年月日： 2003年8月8日

資本金： 2,973,975千円（2021年3月31日時点）

事業内容： 人工知能 を活用したデータ解析事業
（ライフサイエンスAI・ビジネスインテリジェンス・リーガルテックAI・経済安全保障）

主要顧客： 企業・医療機関・官公庁（警察・防衛省・海上保安庁・金融庁等）・法律事務所

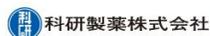
導入ユーザー／パートナー 一覧

※2021年6月1時点

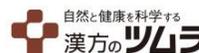
Intelligence Cloud
導入ユーザー



Knowledge Probe
導入ユーザー



Patent Explorer
導入ユーザー



Communication Meter
導入ユーザー



Find Answer
導入ユーザー



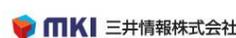
KIBIT - Connect
導入ユーザー



共同開発パートナー



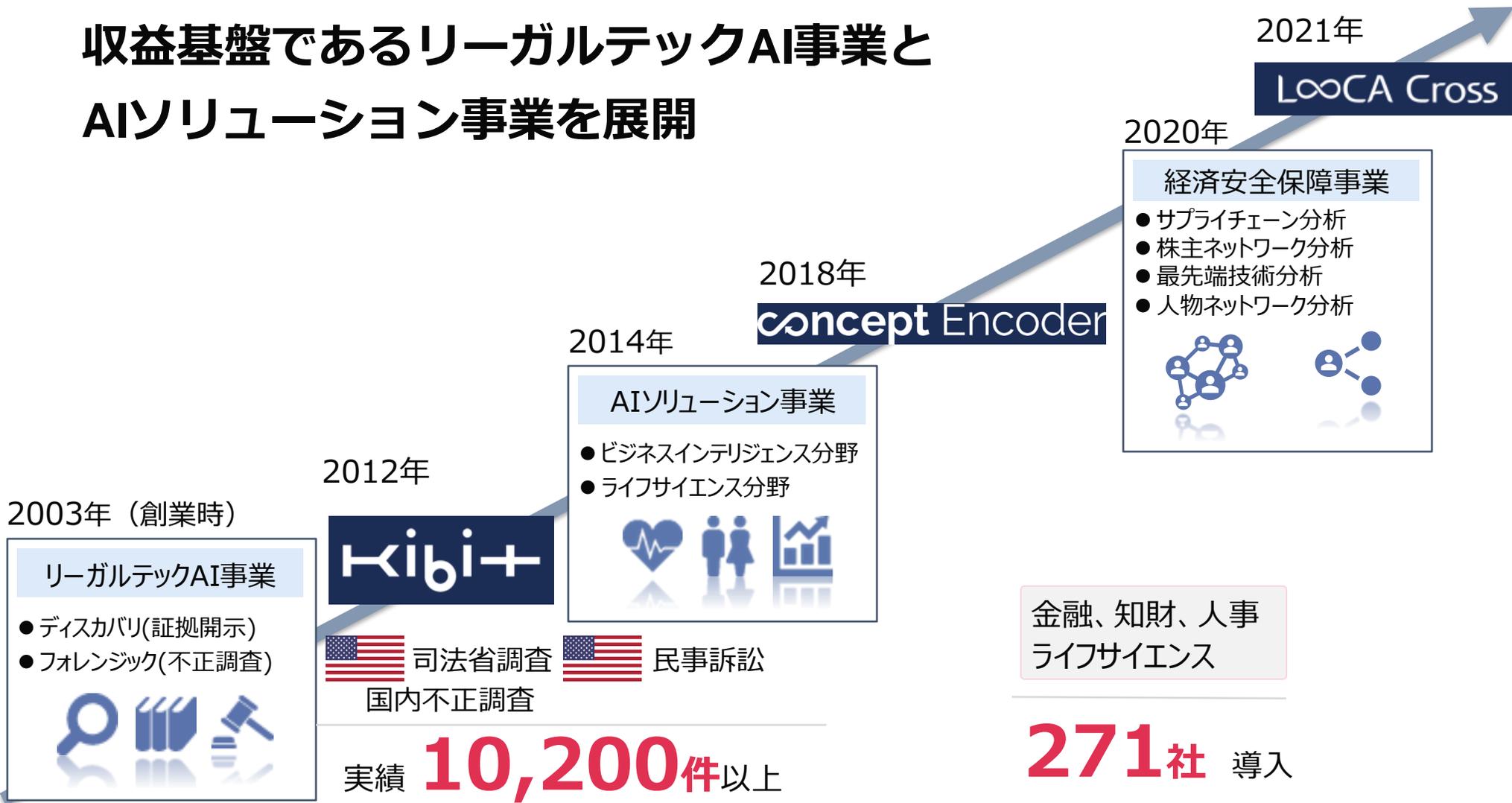
KIBIT
マーケティングパートナー



KIBIT
ビジネスパートナー



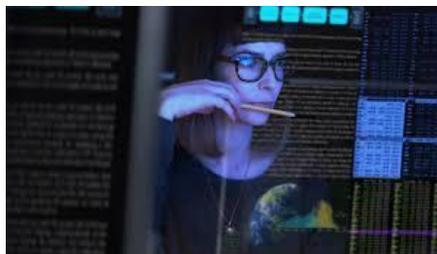
収益基盤であるリーガルテックAI事業と AIソリューション事業を展開



ディスカバリ業務



犯罪捜査



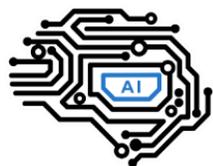
内部監査



特許分析



特定の分野における特別な知識やスキルを持つ人が必要な分野
= 現在ではデータサイエンティストが必要な分野



専門家の判断支援はデータサイエンス分野へ

創薬研究



医療診断



看護・介護



従来の手法（キーワード検索や辞書）では見分けがつかない、
微妙なニュアンスの違いを見分けなければならない

訴訟での証拠文書レビュー

普通のメール

今日の夜、どうですか？

送信日時： 2014/07/07 (月) 15:00
宛先： ■■■さん
CC：
■■■さん

お疲れ様です。■■■です。

今日の夜、予定ありますか？
徐々に飲みにも行けないかと思っていて。
駅前の居酒屋に8時くらいはどうですか？
■■■

不正示唆メール

今日の夜、どうですか？

送信日時： 2014/08/08 (金) 14:30
宛先： ■■■さん
CC：
■■■さん

お世話になってます。■■■の■■■です。

最近はいかがですか？
もし良ければ、今日にでも飲みに行きませんか？
前回から時間も経っていますし、またお話できればと思います。
いい個室の居酒屋を見つけたので、そこにしましょう。
■■■さんも誘った方がいいですかね。
■■■

認知症診断

テキスト2 (抜粋)

食あたり、だから多分、
お昼ご飯が良くなかった、ね、
弁当が、つらかった。
うん、他の人は、あの一、
弁当だからさ。
自分家から持ってきたやつ。
ううん、火曜日は一応、
全部出勤ってか
5時半まで働いたけど、
次の日はもう、
それどこじゃなかったら
休んだ。……

判定：可能性小

テキスト1 (抜粋)

はい。やっぱり
体がちょっとだるいん、です。
ええ。これがなかなか治らない。
ええ。もう結構前ですよ。ね。
ええ、はい。いや、全体に
もうなんかこう、ええ。
疲れたって感じて
何かそういう感じなのね。
どこも行きたくないとか。
ええ。でも
歩かないと足が悪くなる……

判定：可能性大

FRONTEOの人工知能

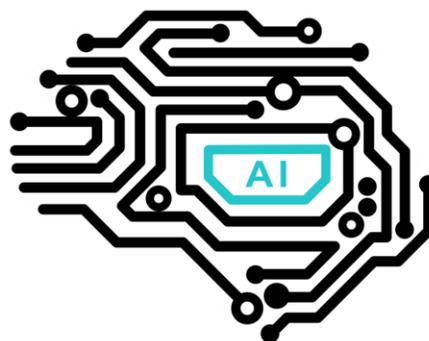
FRONTEOのAIは言語系AI/ネットワーク系AI

Kibi+

concept Encoder

∞CA Cross

AI の大分類



画像系

AI



音声系

AI



言語系

AI

Kibi+
concept Encoder

ネットワーク系

AI

∞CA Cross

micro AI

少量の
教師データ



少量の
コンピューターパワー

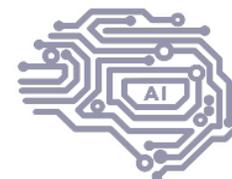


高い精度



テキスト・言語情報分析に開発されたFRONTEO独自の人工知能

Kibi+



自然言語に特化
テキストデータ解析AI

KIBI : (機微) : 人間の微妙な心の動き
BIT : 情報量の最小単位

少量の
教師データでOK



大量データ
分析の**効率化**



定性データ
を**定量化**



ノートPC1台
で分析可能



特許取得済

ライフサイエンス領域向けに開発した新規人工知能エンジン

特許番号: 特許第6346367号
登録日: 2018/06/01

concept Encoder

テキスト情報のベクトル化・数値化



医学論文



電子カルテ



診療記録



オミックス情報



バイタル情報



臨床検査値

AI医療ビジネス支援 および AI医療ソフトウェアの開発

診断支援 AIプログラム



発症予防 AIプログラム



医療情報分析 AI



創薬支援 AI



LOCCA Cross

ルーカ クロス

膨大な情報をLoca（濾過）し、Locate（見つけ出す）+Cross(交差させる)



グローバルサプライ
チェーンデータ



株主データ



論文・共著者
データ



特許データ



WEB・SNSデータ



各国の法規制前
のデータ

膨大かつ複雑なネットワークの中で物の流れや、
影響力の伝搬度合いを分析し、
チョークポイントや隠れた意図を発見する

ライフサイエンスAI分野

事業拡大により、ターゲット分野を拡大

Medical Device領域

医療機器分野

医療機器クラスⅡまたはⅢに
該当するプログラムを提供

※保険収載を想定

【開発中の製品】

- 会話型 認知症診断支援AIプログラム
- 骨折スクリーニングAIプログラム



医療ソフトウェア分野

民生品としてのプログラムを提供

【販売中の製品】

- 転倒転落予測AIシステム



Medical Intelligence領域

創薬支援分野

AIによる創薬・開発・
販売推進

【販売中の製品】

- 論文探索AI「Amanogawa」
- 創薬支援AI「Cascade Eye」



NEW

医療情報分野

電子カルテなどの医療
ビッグデータを活用し
た新たなソリューション
の提供



NEW

規制対応支援分野

医療用医薬品販売情報
提供活動ガイドライン
対応、業務効率化支援



会話型 認知症診断支援AIプログラム 2021年4月より臨床試験開始

言語系AIを用いた医療機器として、**世界に先駆け**日本での早期承認を目指す

5~10分 の通常会話



医師や心理士 患者

1分 で判定

テキスト入力



音声入力



concept Encoder



可能性を判定!

✓ リモート診療

✓ 早期発見

✓ 一般医でも診断可能

■ システムの特徴

- ・ 5分から10分程度の **患者との自然な会話** で解析が可能
- ・ **一般医** でも使用可能
- ・ 今までの問診と比較して **精神的、身体的負担が少ない**
- ・ 定期的に検査を行うことができるため **早期発見、重症化抑制** に有効

■ 参考情報

要素	数値	備考
国内の認知症患者数	600万人※1	後期高齢者数 約1,800万人※2
世界の認知症患者数	5,000万人 ※3	
診療報酬参考値	—	D285 1. 操作が容易なもの イ. 簡易なもの80点・・・MMSE ロ. その他のもの80点・・・CDR 2. 操作が複雑なもの280点 3. 操作と処理が極めて複雑なもの450点・・・ ロジカルメモリー

※1 厚生労働省「認知症の人の将来推計について」より <https://www.mhlw.go.jp/content/000524702.pdf>

※2 内閣府「高齢社会白書」より <https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>

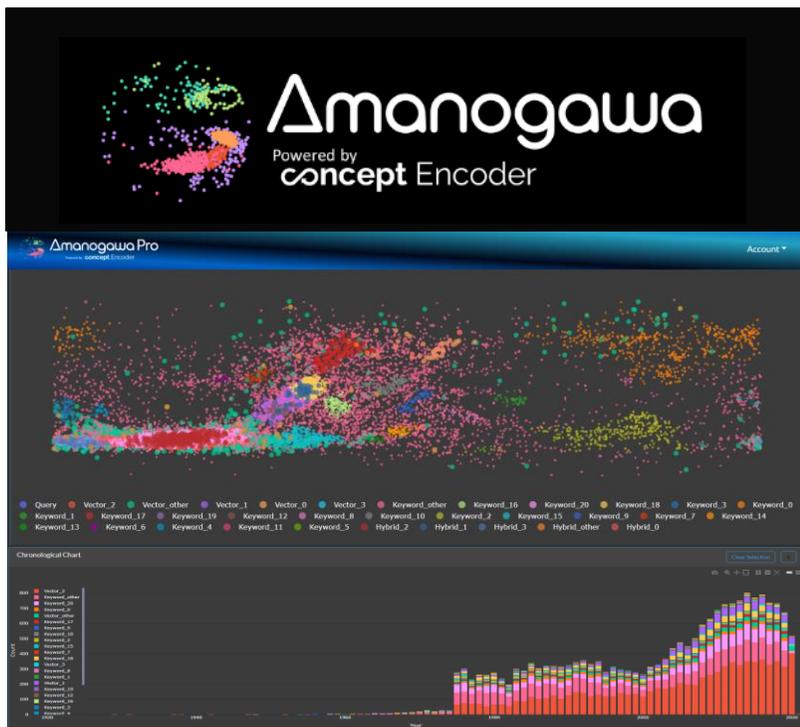
※3 World Health Organizationのサイト「Dementia」より <https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/dementia>

「骨折スクリーニングAIプログラム」開発開始

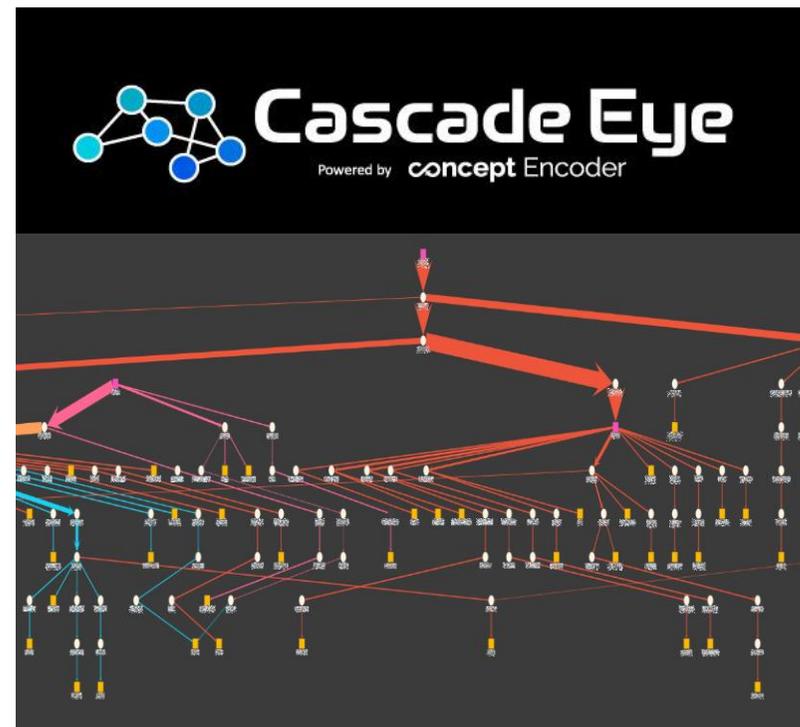
- 看護記録から骨折発生の可能性のある患者を**3日前に予測**
- 予測的中率 **8割以上**
- **医療機器**としての承認・上市を目指す



AIの活用により旧来の創薬プロセスを抜本的に変革

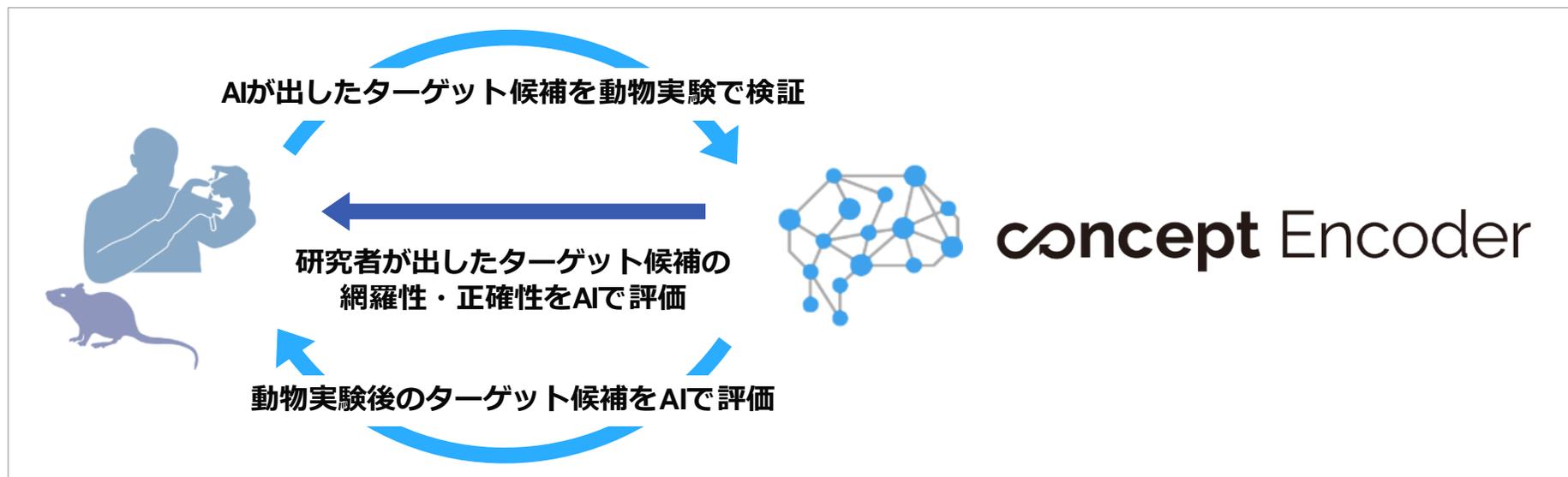


数十万の論文をKeywordではなく内容で検索
 通常の論文検索では見つからない
 新たな遺伝子や分子の発見



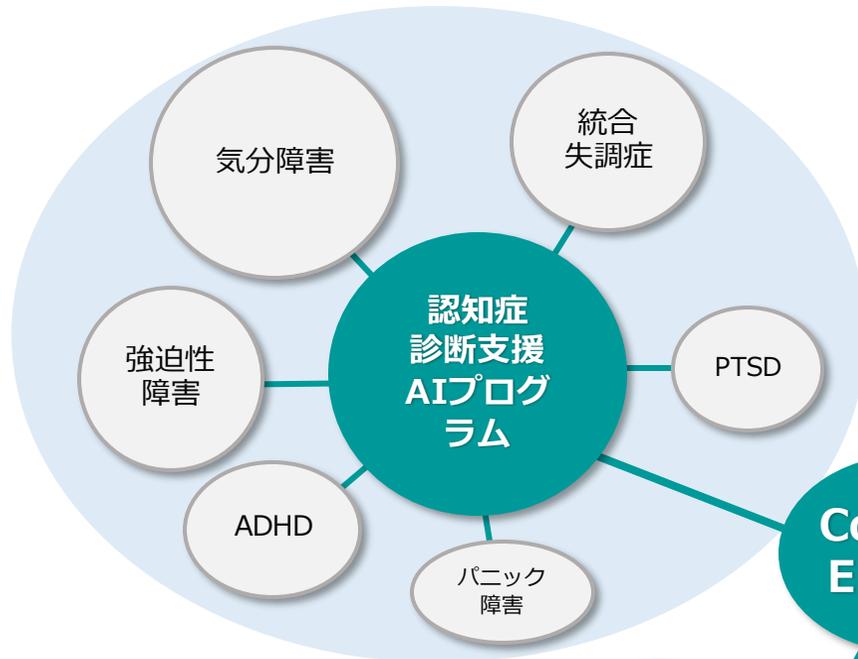
複雑な遺伝子・分子間の関連性を可視化
 人では気が付かない
 新たな作用メカニズムや適応症の発見

AIを用いたDrug Discovery & Repositioning 新規開発スキーム
 武田薬品工業T-CiRAディスカバリーとAI創薬における新規共同事業を開始

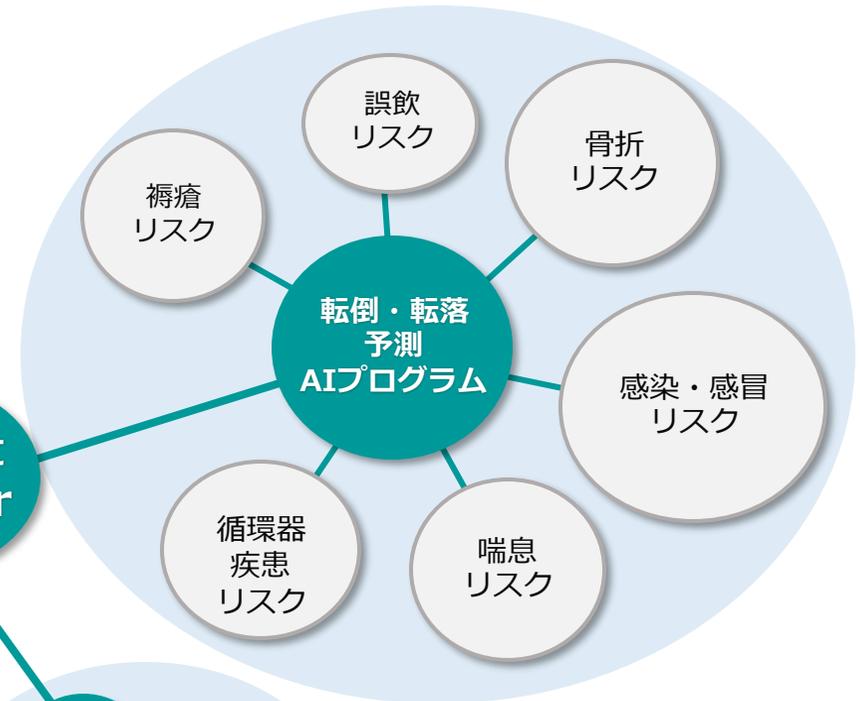


希少疾患を対象とした新たな薬剤の発見、開発に協力

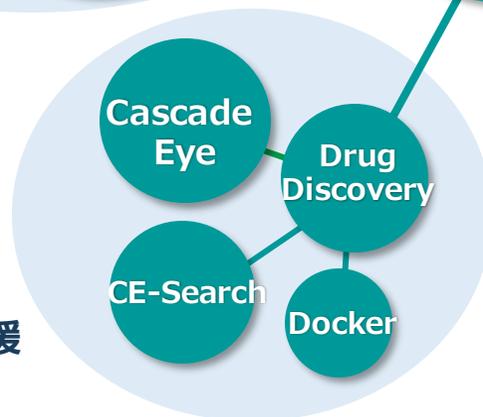
診断・診療支援



リスク予測&予防支援



創薬支援



医療事業支援



ビジネスインテリジェンス分野

アプリケーション

ソリューション

活用シーン

Kibi+
Knowledge Probe

ビジネスデータ分析

- 論文検索
- 景表法抵触チェック
- VoCテキスト仕分け
- (応用・開発) 法務契約書チェック等

Kibi+
Communication Meter

メール/チャット監視

- カルテル検知
- 情報漏洩検知
- 贈収賄・FCPA検知
- クレーム予兆検知

Kibi+
Patent Explorer

特許調査・分析

- 特許調査・分析

KIBIT

技能伝承

- ナレッジシェアシステム
 - 工場間でのナレッジシェア
 - 研究・開発部門でのナレッジシェア

兆^{キサシ}KIBIT

危険予知

- 建設現場の災害リスクの注意喚起

金融庁 FinTech 実証実験ハブ KIBITの活用で業務生産性が大幅に向上

参加 金融機関



課題

消費者ニーズや金融商品の多様化
→本部のチェック業務の負荷が増大
 お客様本位の業務運営と「働き方改革」の実現
→チェック業務の生産性向上が不可欠

実験概要

営業応接記録や音声通話記録から
 一定の時間内で「見つけるべき記録」を見つけ出す
 人のみによるチェックとの業務生産性を比較

「FinTech実証実験ハブ」実験結果

- ✓ 作業時間が **42%**と大幅に短縮
- ✓ 正解検出数 **2倍**とエキスパートと同等の精度
- ✓ 業務経験の多寡による検出能力のバラつきが軽減
業務能力の標準化に貢献することを確認



“FRONTEO FinTech実証実験ハブ最終報告書”

https://kibit.fronteo.com/wp-content/uploads/2020/03/FRONTEO_FinTech_Report_20180801s.pdf

製薬企業向け業務支援「Guideline Viewer」 厚労省ガイドラインへの対応をサポート

背景

厚生労働省の「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドライン」の適用に伴い、製薬企業には監督指導や体制のさらなる強化が求められることに

課題

MR（医療情報担当者）の営業日報/週報の管理は、膨大なデータのモニタリングが必要
→対応工数や体制の確保が大きな課題

【従来】

日報を全件チェックするのに、約30人/月の審査担当者が必要



※MR在籍数1,000名、日報作成1人あたり1日5件、日報チェック時間 1件あたり3分にした場合。審査対象の日報総量：100,000件/月（5,000件×20営業日）と試算

【Guideline Viewer】

日報を全件チェックするのに、1人/月の審査担当者で対応可能（95%削減）

※疑義のある日報を5%（5,000件）と仮定した場合

※時間換算で4,750時間相当の削減効果

技能伝承ソリューション AGC株式会社と共同でガラス製造AI Q&Aシステム「匠KIBIT」を開発

背景と
課題

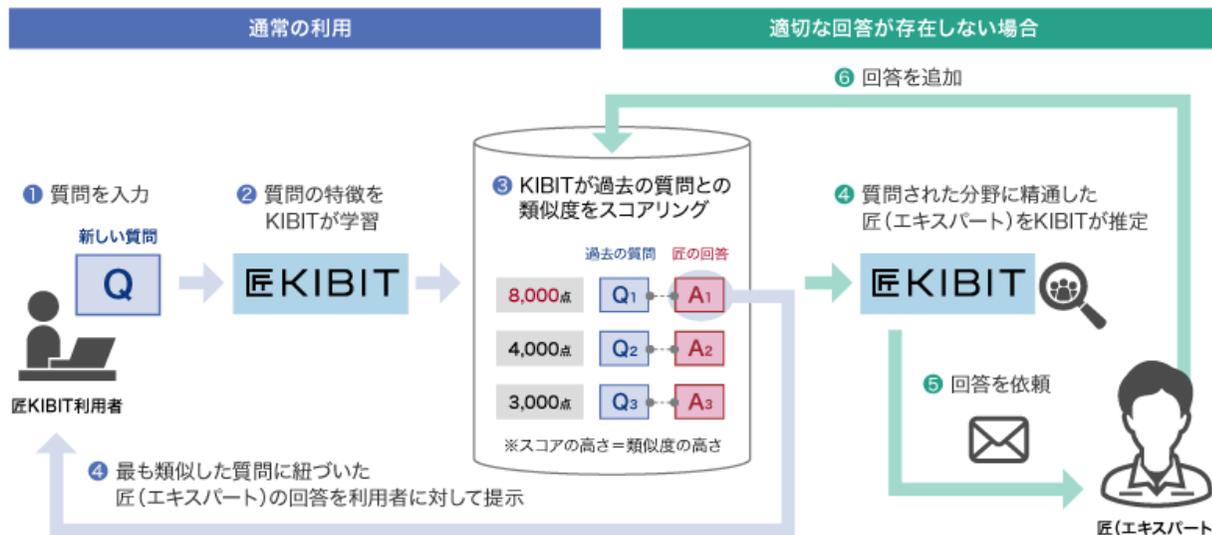
ガラス製造に必要な独自の高い技術力は他社との差別化に繋がっている一方、各工場が蓄積したノウハウの共有や、熟練技術者から若手技術者への技能伝承が課題となっていた

効果

「匠KIBIT」により、熟練技術者の保有するガラス製造の知見をグループ内の技術者が簡単に引き出すことが可能に

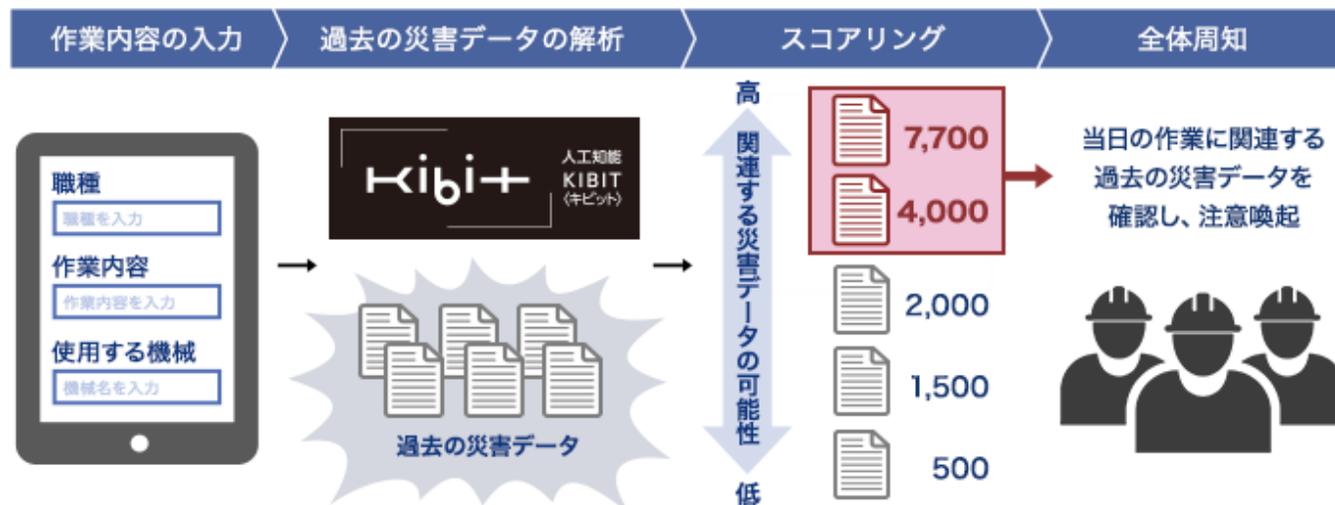


「匠KIBIT」使用時の様子



危険予知ソリューション「兆KIBIT」 過去の災害事例を有効活用し、建設現場の災害リスク削減を支援

- ▶ **兆KIBITによる災害事例抽出**
状況の類似性をスコアリングし、起こりうる災害を複数抽出します。
- ▶ **作業内容に即した災害事例抽出**
各作業を担当する少人数グループごとのKY活動において、タブレット等を用いて当日予定する作業に即した災害事例の確認ができます。
- ▶ **KY活動のマンネリ化を防止**
条件の入力は簡易なメニュー選択のほか、自然言語による条件追加も可能で、幅広い「気づき」を促進することができます。



複数部門でAI製品を導入 ⇒ 顧客単価UP **DX × 自然言語**

法務・知財部



訴訟支援AI
知財戦略AI

人事部



新卒採用、離職予兆AI
ハラスメント予兆AI
メンタルヘルス予兆AI

経営企画部



AI活用構想策定

コンプライアンス部



コンプライアンスリスク
予知AI

工場・建設現場



技能伝承AI
危険予知AI

マーケティング部



市場・競合調査AI

営業部



営業チャンス発見AI

コールセンター



苦情分類・要望抽出AI

金融分野へのソリューション展開

メガバンク

5大証券

5大生保

5大損保

その他

適用製品群

1

Kibi+
Communication Meter

人工知能によるメール&チャット監査システム

2

Kibi+
Knowledge Probe

3

Kibi+ - Connect



製造・建設分野へのソリューション展開





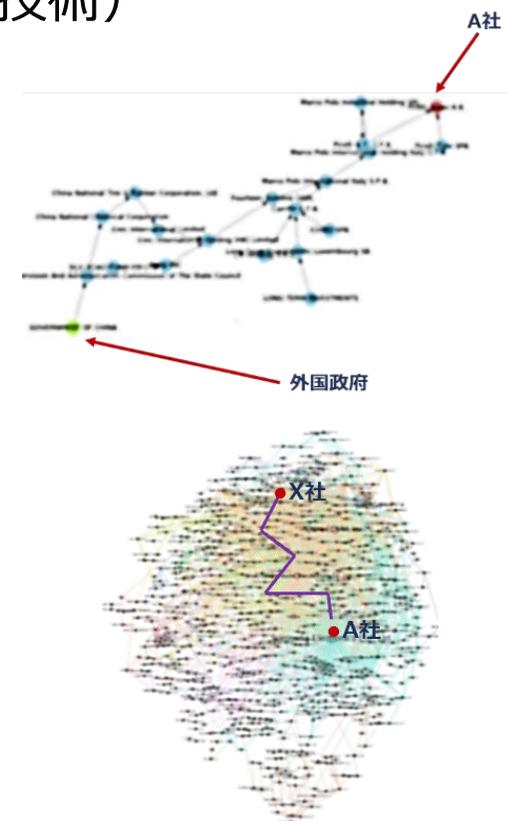
1. 誰がどのような最先端技術（機微技術）を持っているのか？



2. 事実上の企業の支配者は誰か？



3. サプライチェーン安全と健全性（反社会勢力との関係）は？



経済安全保障 × AI

企業データ(出資関係、取引関係)、人物データ、特許/論文/専門誌/SNS等のデータを活用し、経済安全保障に関わる国策や、ESG、事業継続に関わる、企業戦略の策定を支援

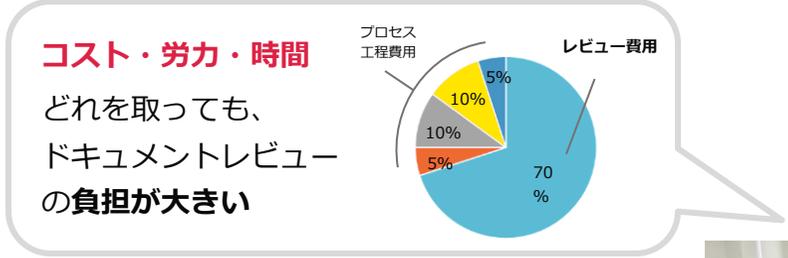
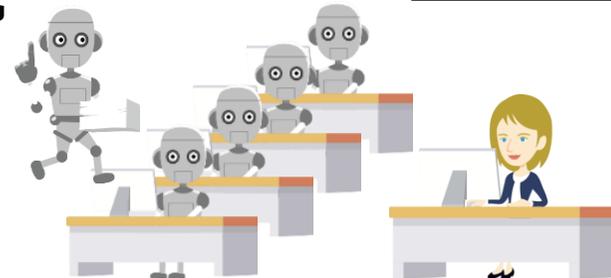
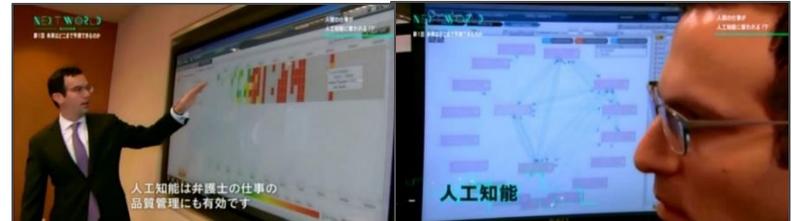


リーガルテックAI事業

米国でのAI実績



AIによる レビューの自動化



Collection



Data Process



Document Review



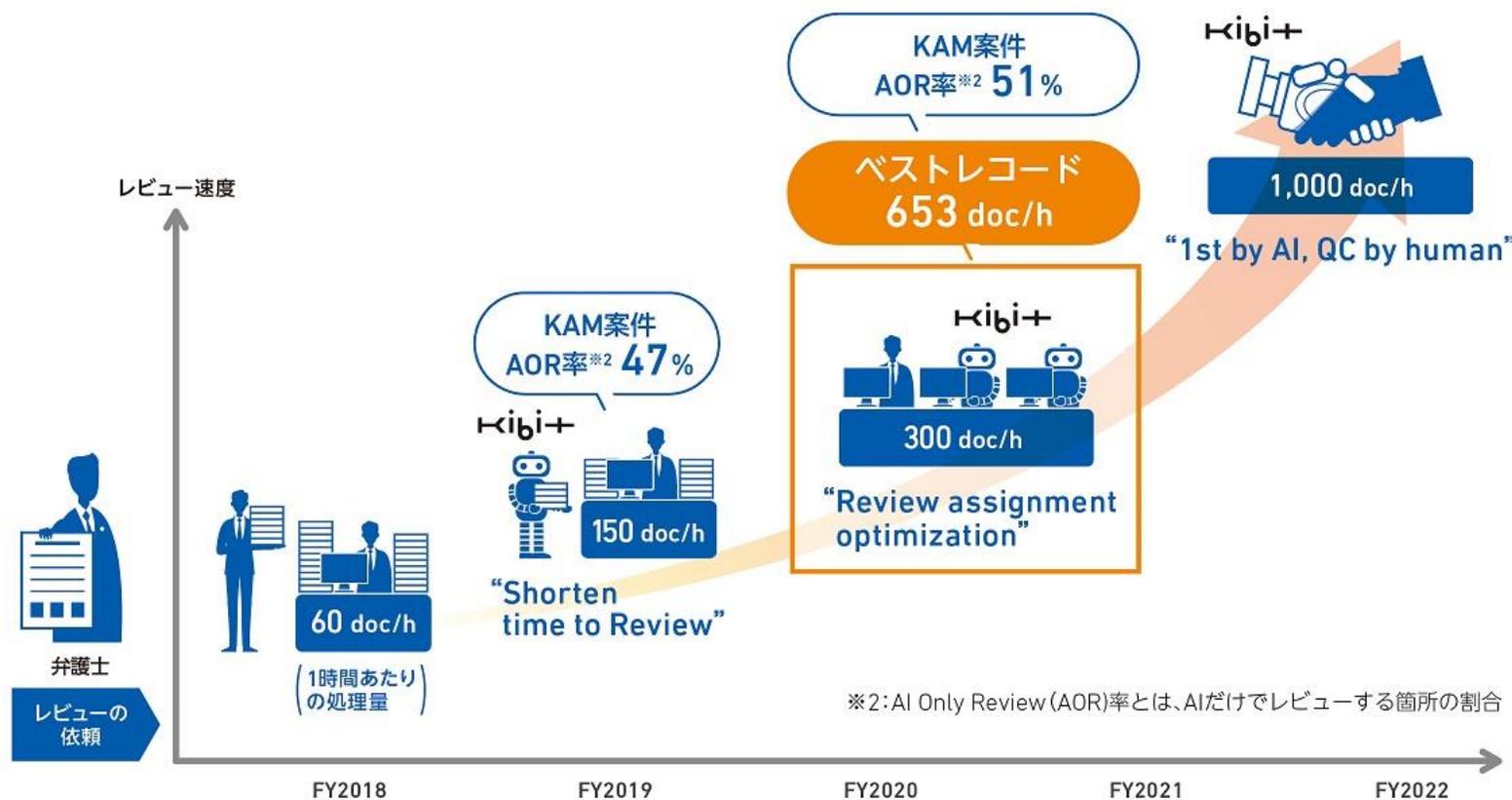
Hosting

Production

Kibi+
Automator

人の手を介さない、
AI Only Review (AOR) を実案件で実施

レビューの全自動化に向かい、レビュー速度1000doc/hr達成を目指す



米国法律事務所のネットワーク、米国現地法人にリーチすることが重要

アジア

顧客企業
本社

FRONTEO

本社ではベンダーを選定せず、米国の現地法人や法律事務所に一任

本社法務室への営業では効果が限定的

米国

eディスカバリベンダーは米国で選定

顧客企業
米国現地法人

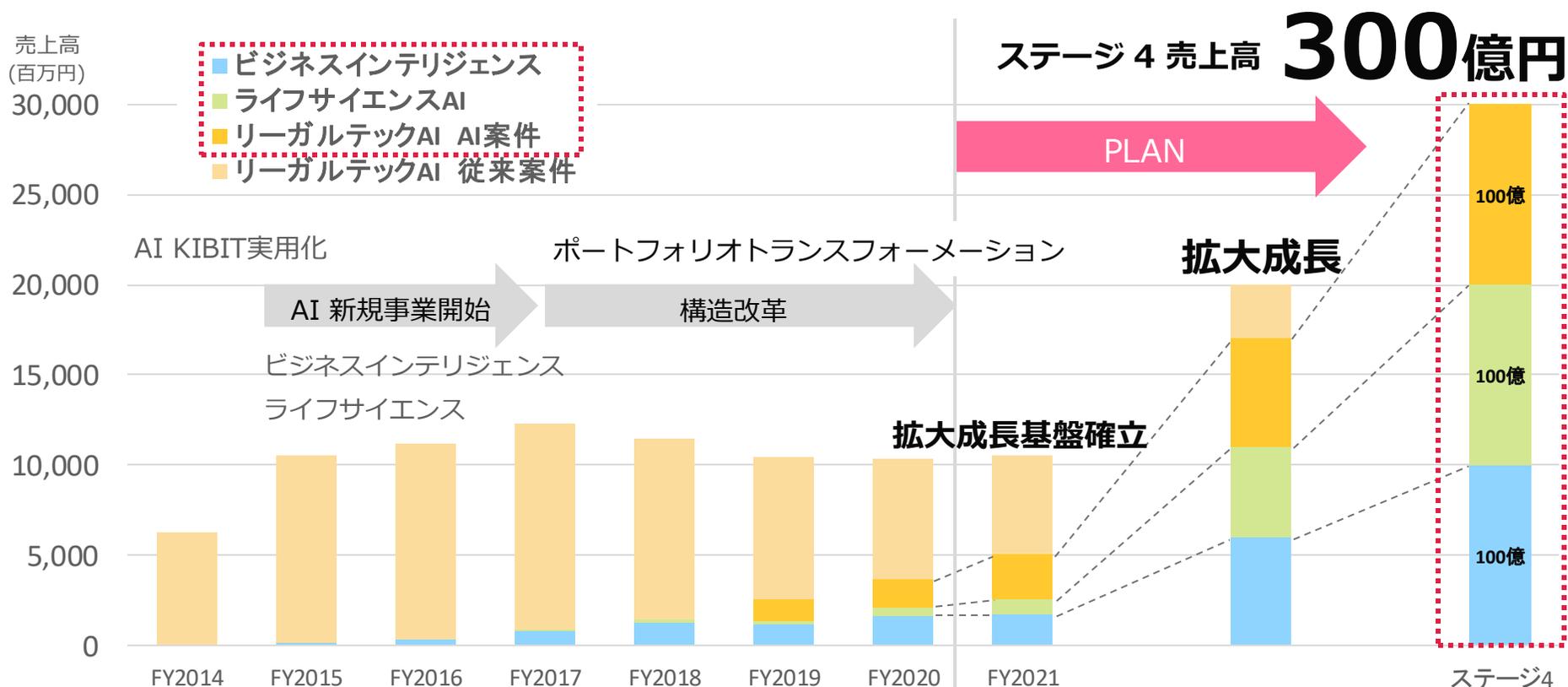
法律事務所

米国eディスカバリベンダー

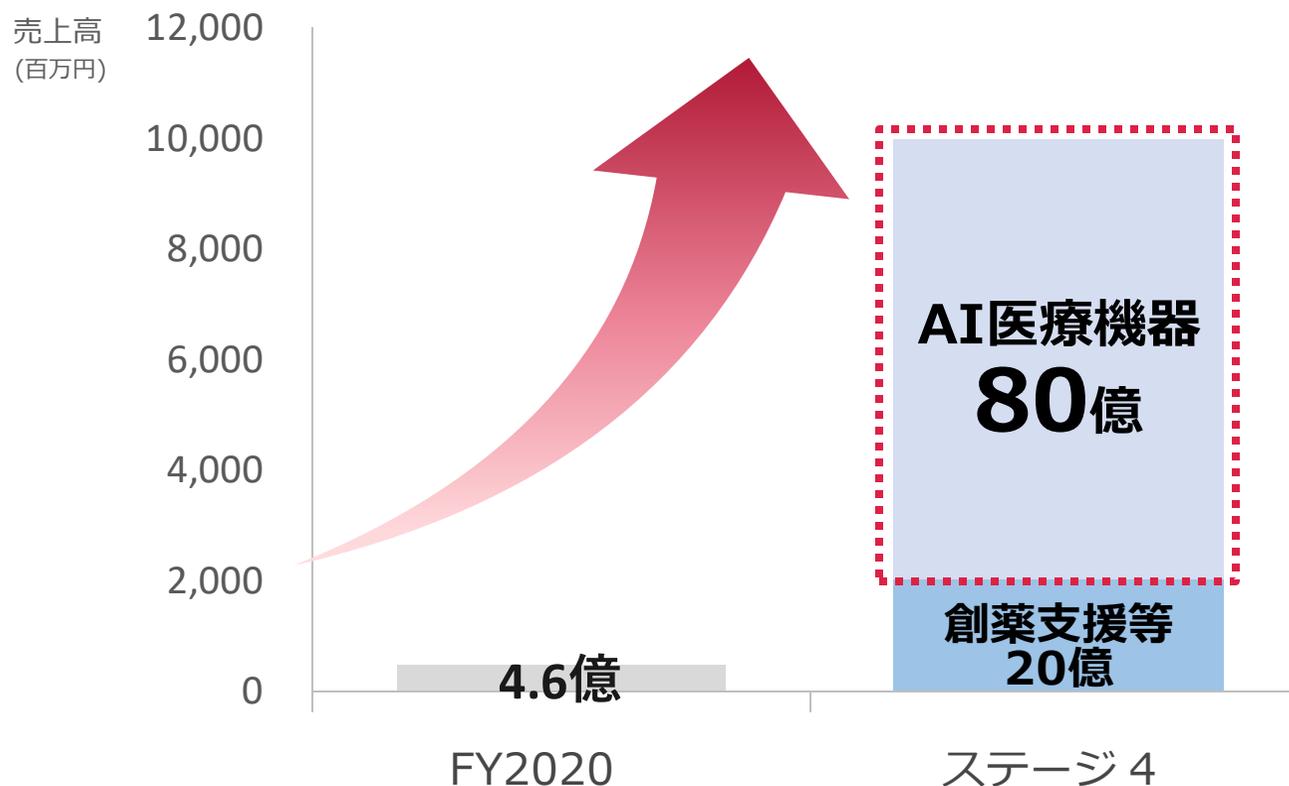
米国での知名度向上
ネットワーク強化が重要

ステージ4（売上300億円） へのイメージ

リーガルテック従来案件売上は**縮小**・AI関連売上は**拡大**



医療機器承認による爆発的な成長



世界初
言語系AI医療機器
保険収載による売上

ターゲット

アプローチ



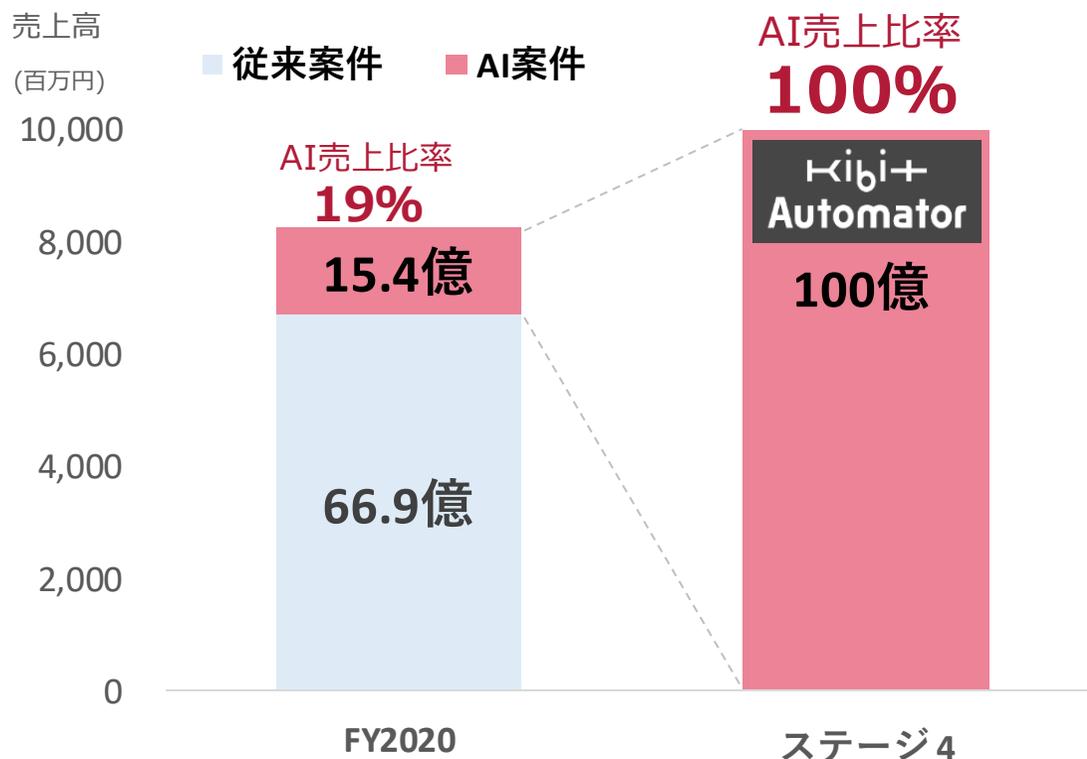
	FY2020	→	ステージ4
導入企業数	約200社		約400社
導入企業あたりの平均売上	8百万円		25百万円

売上高
×6倍

導入企業者数
×2倍

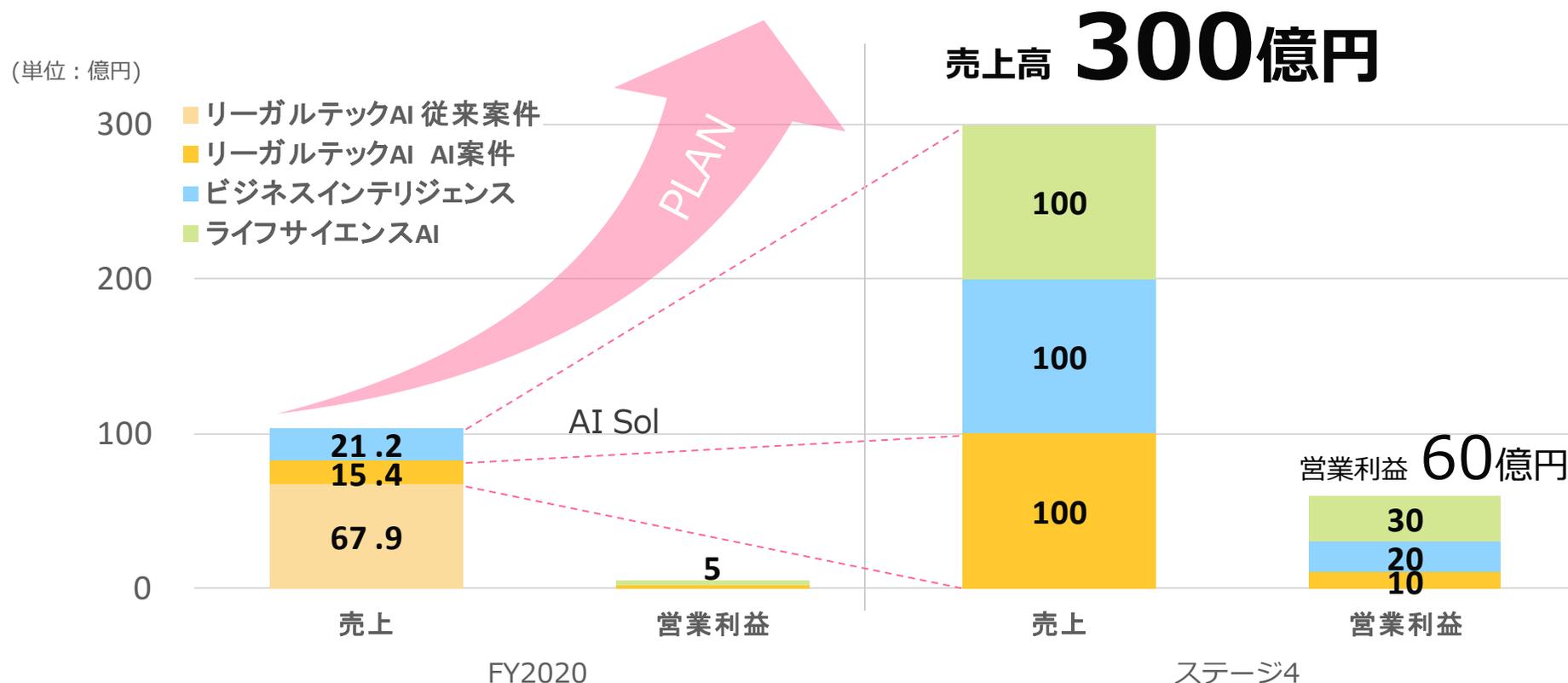
1社あたり売上
×3倍

AIビジネスへのポートフォリオトランスフォーメーションが成長の鍵



AIレビューツール
「KIBIT Automator」
を活用した
**AI案件売上が
100%へ**

ポートフォリオトランスフォーメーションによりAIサービス売上高が着実に成長





FRONTEO Bright Value

記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューション
を提供し、情報社会のフェアネスを実現します。



お問い合わせ先 株式会社FRONTEO
Email: ir_info@fronteo.com

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。